

## 開催報告



# トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会 第1回 (仮称)天王川利活用ワーキンググループ

開催日：2015年6月29日(月)19:00～21:10

場所：トキ交流会館 大ホール

参加者：WG構成員17名、事務局11名

## 天王川中流部の自然再生整備箇所の「利活用」や「維持管理」などを話し合う「ワーキンググループ」を設立・開催しました！

これまでに開催した13回の「水辺づくり座談会」では、地域のみなさんからさまざまなご意見をうかがい、天王川中流部の整備計画に反映させてきました。

これからは天王川中流部とその周辺地域を「どのように利活用していくか」、「維持管理は誰がどのように行うのか」など、実践に向けた具体的な検討・調整を行う場が必要となるため、座談会の下部組織として「(仮称)天王川利活用ワーキンググループ(以下WG)」を設立・開催しました。

WG座長に板垣さん(潟上水辺の会・代表世話人)、副座長に高野さん(生樺の自然を守る会・代表)が選出されました。

今回は、第13回座談会から少し時間が空いていることもあり、中流部における自然再生整備の原案について振り返りを行ったあと、「具体的な利活用方法」について話し合いが進められました。



WGの様子(交流会館大ホール)



WG座長に選出された板垣さん(右)と副座長に選出された高野さん(左)

## (仮称)天王川利活用ワーキンググループの構成員

- ◆地元集落：潟上集落、正明寺集落、田野沢集落
- ◆関係団体：(一社)佐渡生きもの語り研究所、NPO法人トキとき応援団、潟上水辺の会、加茂湖漁業協同組合、佐渡島加茂湖水系再生研究所、生樺の自然を守る会
- ◆学校関係：伝統文化と環境福祉の専門学校、佐渡市立行谷小学校
- ◆行政機関：環境省佐渡自然保護官事務所
- ◇事務局：佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市役所建設課、佐渡市役所農林水産課

問い合わせ先 新潟県 佐渡地域振興局地域整備部 担当) 計画調整課 水倉、藤澤

TEL：0259-74-4040 FAX：0259-74-2048 Email：fujisawa.masamichi@pref.niigata.lg.jp

## ワーキンググループで出された主なご意見

### 【天王川中流部における整備の原案について】

- 窪地の流入部などに敷く「小石」に期待する効果は？(構成員)  
⇒ 加茂湖のカキ養殖への影響を最小限とするため、粘土分や細かな土砂が流出する恐れがある箇所には、「小石」を敷き土砂の流出を抑制する計画としている。(事務局)
- 整備の原案を作成するにあたって、参考とした事例や成功例などはあるのか？  
⇒ アドバイザーの意見を聞きながら検討を進めてきた。参考とした特定の場所はない。・池や湿地は「トキのえさ場」としての機能を有しているとのことだが、流速や水深、生息する餌生物について、どのようになると期待しているのか？  
⇒ 沢水や地下水によって、田んぼのような環境が形成される。深さを一様でなくすることで、ドジョウやサワガニ等、多様な生物が生息する環境になることを期待している。

### 【利活用について】

- 「トキのえさ場」としての機能を有するとのことだが、子どもたちの生物観察の場としても利用できるか？  
⇒ 放鳥トキの定着が進んできており、計画当初からは状況が変わってきている。トキと子どもたちが共存できるような活用方法について検討していきたい。
- 整備後の堤防道路は、農作業としても利用できるか？  
⇒ 周辺の営農に支障のないように配慮する。
- 窪地が土砂で埋まった場合はどうするのか？  
⇒ たまった土砂は県が掘削などの管理を行う。



天王川中流部のイメージパース

### 【次回のWGについて】

- 次回は8月上旬の開催を予定する。意見交換の前に現場を見て構成員でイメージを共有する。

## 野生下のトキの状況等について、

### 環境省・佐渡自然保護官事務所からご報告をいただきました

- 平成27年は平成25年2月に策定した「トキ野生復帰ロードマップ」の目標年であり、目標定着数60羽に対し、6月26日現在で109羽の定着が確認され、目標を満足している。
- トキと人とが共生できるような環境を、長いスパンで維持・形成することが重要である。
- 今年中に、2020年までの目標について検討・設定していく方針である。



←トキの現状について報告する  
広野首席自然保護官(左)と遠矢自然保護官

→新穂地区内の止まり木で  
休むトキ

